

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

實用新案登録第3197969号
(U3197969)

(45) 発行日 **平成27年6月11日(2015.6.11)**

(24) 登録日 平成27年5月20日 (2015.5.20)

(51) Int. Cl.

F 1

B 6 5 D 5/42 (2006.01)

B 6 5 D 5/42

B

評価書の請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 実願2015-1501 (U2015-1501)
(22) 出願日 平成27年3月30日 (2015. 3. 30)

(73) 実用新案権者 391065817
富山スガキ株式会社
富山県富山市古鍛冶町5番23号

(74) 代理人 100095430
弁理士 廣澤 勲

(72) 考案者 赤井 智昭
富山県富山市塚原23番の1 富山スガキ
株式会社内

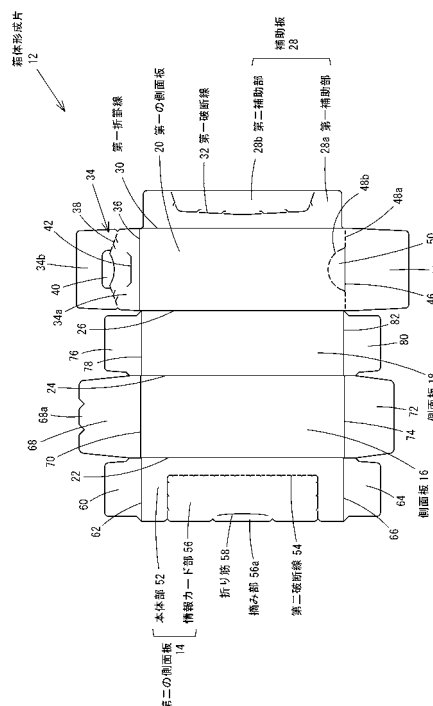
(54) 【考案の名称】 情報カード付き包装箱

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】情報カードを箱体から切り離したとき、情報カードが変形しにくく、情報表示を綺麗に保つことができる情報カード付き包装箱を提供する。

【解決手段】 箱体形成片 1 2 は、互いに平行に連接されて筒体に組み立てられる側面板 1 4、1 6、1 8、2 0 と、片端に位置する第一の側面板 2 0 に第一折罫線 3 0 を介して連接された補助板 2 8 とを備える。補助板 2 8 は、第一の側面板 2 0 と反対側の端に位置する第二の側面板 1 4 の裏面に重ねて糊付けされる第一補助部 2 8 a と、第一補助部 2 8 a から切離可能に第一破断線 3 2 で区切られた第二補助部 2 8 b とを備える。第二の側面板 1 4 は、第一補助部 2 8 a に糊付されて筒体の一部となる本体部 5 2 と、本体部 5 2 から切離可能に第二破断線 で区切られた情報カード部 5 6 を備える。情報カード部 5 6 は、第二補助部 2 8 b を覆う大きさを有し、表面に情報が印刷され、裏面に第二補助部 2 8 b が糊付けされる。

【選択図】 図2



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

一枚のブランクシートから一体的に打ち抜かれた箱体形成片から成り、

前記箱体形成片には、互いに平行に接続されて筒体に組み立てられる複数の側面板と、前記複数の側面板のうちの片端に位置する第一の側面板に第一折罫線を介して接続された補助板とが設けられ、

前記補助板には、前記第一の側面板と反対側の端に位置する第二の側面板の裏面に重ねて糊付けされる第一補助部と、前記第一補助部から切離可能に第一破断線で区切られた第二補助部とが設けられ、

前記第二の側面板には、前記第一補助部に糊付されて前記筒体の一部となる本体部と、前記本体部から切離可能に第二破断線で区切られた部分であって、前記第二補助部を覆う大きさを有し、表面に内容物に関する情報が印刷され、裏面に前記第二補助部が糊付けされる情報カード部とが設けられていることを特徴とする情報カード付き包装箱。

10

【請求項 2】

前記第二補助部は、前記補助板の端部であって、前記第一折罫線側の端部から離れた反対側の端部に設けられ、前記第一折罫線と並行する一辺、及びこの一辺の両端から前記第一折罫線と反対の方向に延びる二辺に前記第一破断線が設けられ、この第一破断線により前記第一補助部と区切られている請求項 1 記載の情報カード付き包装箱。

【請求項 3】

前記情報カード部は、前記第二の側面板の端部であって、前記第二の側面板に接続された隣の前記側面板側の端部から離れた反対側の端部に設けられ、前記第一折罫線と並行する一辺、及びこの一辺の両端から前記隣の側面板と反対の方向に延びる二辺に前記第二破断線が設けられ、この第二破断線により前記本体部と区切られている請求項 1 又は 2 記載の情報カード付き包装箱。

20

【請求項 4】

前記情報カード部は、前記第二破断線が設けられていない端辺に、前記情報カード部を切り離す際に使用される摘み部が設けられ、前記摘み部の基端部に沿って折り筋が設けられている請求項 3 に際の情報カード付き包装箱。

【請求項 5】

前記情報カード部の少なくとも裏面中央部に、前記第二補助部が糊付けされている請求項 2 記載の情報カード付き包装箱。

30

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、収容物に関する情報が印刷されている部分を切り離して情報カードとして使用できる情報カード付き包装箱に関する。

【背景技術】

【0002】

商品の陳列や保管に使用される包装箱には、通常、箱体表面に収容物に関する情報（例えば、文字、絵柄、バーコード）が印刷されている。従来から、この情報が印刷された部分を箱体から切り離すことによって情報カードとして利用できる包装箱が提案されている。

40

【0003】

例えば、特許文献 1 に開示されている包装容器は、複数の面から成り、そのうちの少なくとも一面が開封部を有する開封面で、開封面と異なる面の少なくとも一面が外側片及び内側片からなる二重構造であり、外側片には内容物情報が印刷され、外側片の一部または全部が切除されるように、内容物情報の周囲に切除部が設けられている。実施例として、外側片及び内側片からなる二重構造とするために、箱体を形成する 4 つの側面（内側片を含む）と、糊付をするための折返片の他に、情報カードが設けられた外側片を設けた構成が記載されている。

50

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】実用新案登録第3172099号公報

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0005】

特許文献1の包装容器は、筒体を形成するための面の数が多いため（4つの側面、折返片、及び外側片）、箱体形成片の使用面積が広くなり、また糊を付ける面積や箇所が多くなって組み立てが面倒になるので、コストがかかるものである。また、箱体形成片は、厚紙等の塑性変形しやすい素材が使用されるので、情報カードを箱体から切り離すとき、情報カードが湾曲してシワが発生したり折れ曲りの跡が残ったりして、情報表示の見栄えが悪くなるという問題がある。特に、情報カードにバーコードが印刷されている場合、情報カードが変形することによって、バーコードリーダで読み取れなくなる可能性がある。

10

【0006】

本考案は、上記背景技術の問題点に鑑みて成されたものであり、情報カードを箱体から切り離したとき、情報カードが変形しにくく、情報表示を綺麗に保つことができる情報カード付き包装箱を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

本考案は、一枚のブランクシートから一体的に打ち抜かれた箱体形成片から成り、前記箱体形成片には、互いに平行に接続されて筒体に組み立てられる複数の側面板と、前記複数の側面板のうちの片端に位置する第一の側面板に第一折罫線を介して接続された補助板とが設けられ、前記補助板には、前記第一の側面板と反対側の端に位置する第二の側面板の裏面に重ねて糊付けされる第一補助部と、前記第一補助部から切離可能に第一破断線で区切られた第二補助部とが設けられ、前記第二の側面板には、前記第一補助部に糊付されて前記筒体の一部となる本体部と、前記本体部から切離可能に第二破断線で区切られた部分であって、前記第二補助部を覆う大きさを有し、表面に内容物に関する情報が印刷され、裏面に前記第二補助部が糊付けされる情報カード部とが設けられている情報カード付き包装箱である。

20

30

【0008】

前記第二補助部は、前記補助板の端部であって、前記第一折罫線側の端部から離れた反対側の端部に設けられ、前記第一折罫線と並行する一辺、及びこの一辺の両端から前記第一折罫線と反対の方向に延びる二辺に前記第一破断線が設けられ、この第一破断線により前記第一補助部と区切られている構成であることが好ましい。

【0009】

また、前記情報カード部は、前記第二の側面板の端部であって、前記第二の側面板に接続された隣の前記側面板側の端部から離れた反対側の端部に設けられ、前記第一折罫線と並行する一辺、及びこの一辺の両端から前記隣の側面板と反対の方向に延びる二辺に前記第二破断線が設けられ、この第二破断線により前記本体部と区切られている構成であることが好ましい。この場合、前記情報カード部は、前記第二破断線が設けられていない端辺に、前記情報カード部を切り離す際に使用される摘み部が設けられ、前記摘み部の基端部に沿って折り筋が設けられている構成であることが好ましい。

40

【0010】

前記情報カード部の少なくとも裏面中央部に、前記第二補助部が糊付けされていると良いものである。

【考案の効果】

【0011】

本考案の情報カード付き包装箱は、情報カード部に第二補助部が重なって糊付されて情報カード部が補強されているので、箱体から切り離すときに情報カード部が変形しにくく

50

、情報カード部の情報表示を綺麗に保つことができる。また、箱体形成片の使用面積もさほど大きくなり、組み立ても容易である、

【図面の簡単な説明】

【0012】

【図1】本考案の情報カード付き包装箱の一実施形態を示す斜視図である。

【図2】この実施形態の情報カード付き包装箱の箱体形成片の展開図（裏面側）である。

【図3】図2の箱体形成片の組み立て工程を示す図（a）、（b）である。

【図4】図2の箱体形成片の組み立て工程を示す図（a）、（b）、（c）である。

【図5】図2の箱体形成片の組み立て工程を示す図（a）、（b）、（c）である。

【図6】この実施形態の情報カード付き包装箱を開封した状態を示す斜視図（a）、再封した状態を示す斜視図（b）である。

10

【図7】この実施形態の情報カード付き包装箱の筒体から情報カード部を切り離す操作を説明する斜視図（a）、情報カード部及び情報表示フラップを切り離した状態を示す斜視図（b）である。

【図8】第二補助部の変形例を示す箱体形成片の展開図（裏面側）である。

【考案を実施するための形態】

【0013】

以下、本考案の情報カード付き包装箱の一実施形態について、図面に基づいて説明する。この実施形態の情報カード付き包装箱10は、図1に示すように、略直方体の箱体であり、厚紙等の一枚のブランクシートを一体的に打ち抜いた箱体形成片12を組み立てることによって形成される。

20

【0014】

図2は、箱体形成片12を裏面側から見た展開図であり、箱体形成片12は、互いに平行に接続された4つの側面板14、16、18、20を有し、各々折罫線22、24、26で区切られている。4つの側面板14、16、18、20は、接続方向と直交する幅方向の長さが同じで、接続方向の長さは、側面板16、20が少し長くて互いに同じであり、側面板14、16が少し短くて互いに同じである。以下、接続方向の片端に位置する側面板20を第一の側面板20、第一の側面板20と反対側の端に位置する側面板14を第二の側面板14と称する。

【0015】

30

第一の側面板20の接続方向の端部には、略矩形の補助板28が延設され、第一折罫線30で第一の側面板20と区切られている。補助板28の延出方向長さは、第二の側面板14の接続方向長さより短く且つ約1/2以上であり、ここでは約3/5である。補助板28には、第二の側面板14の裏面に重ねて糊付けされる第一補助部28aと、第一補助部28aから切離可能に第一破断線32で区切られた第二補助部28bとが設けられている。第二補助部28bは、補助板28の端部であって、第一折罫線30側の端部から離れた反対側の端部に設けられており、第一折罫線30と並行する曲線状の一辺、及びこの一辺の両端から第一折罫線30と反対の方向に延びる二辺に第一破断線32が設けられ、第一破断線32により第一補助部28aと区切られている。

【0016】

40

第一の側面板20の、接続方向に対して直角方向の一端部には、略矩形の第一の蓋片34が延設され、折罫線36で第一の側面板20と区切られている。第一の蓋片34の延出方向長さは、側面板18の接続方向長さとはほぼ同じである。第一の蓋片34は、延出方向のほぼ中央部にV字状の開封用破断線38が設けられ、基端側部分34aと先端側部分34bとに区切られている。さらに、開封用破断線38のV字状の頂点の位置に細長い透孔40が設けられ、基端側部分34aの中央部に折罫線36と略平行な切り込み42が設けられている。

【0017】

第一の側面板20の他端部には、第一の蓋片34と同形の第一の底片44が延設され、折罫線46で第一の側面板20と区切られている。さらに、折罫線46に沿うように、第

50

一の底片 4 4 の基端部両端から内向きに分解用破断線 4 8 a が設けられ、第一の側面板 2 0 の内側に、分解用破断線 4 8 a の内側両端を起点として連続する分解用破断線 4 8 b と第一の折罫線 4 6 とで囲まれた押圧部 5 0 が設けられている。

【0018】

第二の側面板 1 4 には、補助板 2 8 の第一補助部 2 8 a に糊付されて筒体の一部となる本体部 5 2 と、第二補助部 2 8 b を覆う大きさを有し、本体部 5 2 から切離可能に第二破断線 5 4 で区切られた情報カード部 5 6 とが設けられている。

【0019】

情報カード部 5 6 は、第二の側面板 1 4 の端部であって、折罫線 2 2 側の端部から離れた反対側の端部に設けられており、第一折罫線 3 0 とほぼ平行な一辺、及びこの一辺の両端から折罫線 2 2 と反対の方向に延びる二辺に第二破断線 5 4 が設けられ、第二破断線 5 4 により本体部 5 2 と区切られている。情報カード部 5 6 の第二破断線 5 4 が設けられていない端辺は、2 箇所が V 字状に切り込まれ、その間に摘み部 5 6 a が形成されている。さらに、摘み部 5 6 a の基端部に沿って、折り筋 5 8 が設けられている。情報カード部 5 6 の表面には、収容物に関する情報（文字、絵柄、バーコード等）が印刷されており、裏面の少なくとも中央部から折罫線 6 2, 6 6 側に渡って第二補助部 2 8 b の表面に糊付けされる。

【0020】

第二の側面板 1 4 の、連接方向に対して直角方向の一端部（第一の蓋片 3 4 側の端部）には、台形状のフラップ 6 0 が延設され、折罫線 6 2 で第二の側面板 1 4 と区切られている。第二の側面板 1 4 の他端部にも、同様のフラップ 6 4 が延設され、折罫線 6 6 で第二の側面板 1 4 と区切られている。

【0021】

側面板 1 6 の、連接方向に対して直角方向の一端部（第一の蓋片 3 4 側の端部）には、略矩形の第二の蓋片 6 8 が延設され、折罫線 7 0 で側面板 1 6 と区切られている。第二の蓋片 6 8 の延出方向長さは、第一の蓋片 3 4 よりも少し短い。第二の蓋片 6 8 は、先端部の 2 箇所が V 字状に切り込まれ、その間に舌片状の再封部 6 8 a が形成されている。再封部 6 8 a は、第一の蓋片 3 4 の切り込み 4 2 に差し込み可能な形状になっている。側面板 1 6 の他端部には、第二の蓋片 6 4 とほぼ同形の第二の底片 7 2 が延設され、折罫線 7 4 で側面板 1 6 と区切られている。

【0022】

側面板 1 8 の、連接方向に対して直角方向の一端部（第一の蓋片 3 4 側の端部）には、台形状のフラップ 7 6 が延設され、折罫線 7 8 で側面板 1 8 と区切られている。側面板 1 8 の他端部にも、同様のフラップ 8 0 が延設され、折罫線 8 2 で側面板 1 8 と区切られている。

【0023】

次に、情報カード付き包装箱 1 0 の組立方法の一例について説明する。ここで、箱体形成片 1 2 の表面が凸になる折り方を正折り、そして裏面が凸になる折り方を逆折りと称する。

【0024】

まず、図 3 (a) に示すように、第一折罫線 3 0 を正折りする。そして、補助板 2 8 の第一補助部 2 8 a の表面の、第二補助部 2 8 b の両端付近の 2 箇所に糊 8 4 を塗布し、第二補助部 2 8 b の表面に糊 8 6 を塗布した後、図 3 (b) に示すように、折罫線 2 4 を正折りする。これにより、第一補助部 2 8 a の表面が第二の側面 1 4 の本体部 5 2 の裏面に糊付され、第二補助部 2 8 b の表面が情報カード部 5 6 の裏面に糊付され、箱体形成片 1 2 が折り畳まれた状態となる。情報カード付き包装箱 1 0 は、この状態で出荷される。

【0025】

次に、商品を収容し包装する工場等において、折罫線 2 2, 2 4, 2 6, 3 0 を各々 90° に正折りし、4 つの側面板 1 4, 1 6, 1 8, 2 0 及び補助板 2 8 で筒体を形成する。そして、図 4 (a)、(b)、(c) に順に示すように、筒体の一方の端部の折罫線 6

10

20

30

40

50

6, 82でフラップ64, 80を90°に正折りし、折罫線74で第二の底片72を90°に正折りし、第二の底片72の表面に糊88を塗布した後、第一の底片44を折罫線46で正折りする。これにより、第一の底片44の裏面が第二の底片72の表面に糊付され、筒体の一方の端部を閉鎖する底部が形成される。

【0026】

筒体の開放している側の端部から商品を入れると、図5(a)、(b)、(c)に順に示すように、折罫線62, 78でフラップ60, 76を90°に正折りし、折罫線70で第二の蓋片68を90°に正折りし、第二の蓋片68の表面の折罫線70寄りの位置に糊90を塗布した後、第一の蓋片34を折罫線36で正折りする。これにより、第一の蓋片34の先端側部分34bの裏面が第二の蓋片68の表面に糊付されて蓋部が形成され、図1に示す組み立て状態になる。

10

【0027】

次に、情報カード付き包装箱10を開封及び再封する操作について説明する。開封するときは、第一の蓋片34の基端側部分34aの透孔40側の端部に指を添え、基端側部分34aを引き上げるようにして開封用破断線38を破断させる。そして、図6(a)に示すように、第二の蓋片68及びフラップ60, 72を順に引き上げて筒体の端部を開放し、中の商品を取り出す。このとき、先端側部分34bが第一の蓋片34の基端側部分34aから分離するが、第二の蓋片68に糊付けされているので、ゴミにはならない。

【0028】

また、図7(a)、(b)に示すように、情報カード部56の摘み部56aを摘んで補助板28から引き離し、第二破断線54を破断させると、情報カード部56を第二の側面板14から分離させることができる。このとき、補助板28の第二補助部28bが情報カード部56に糊付けされているため、第一破断線32もほぼ同時に破断し、第二補助部28bが補助板28から分離し、その結果、情報カード部56と第二補助部28bとが一体に箱体から切り離される。情報カード部56は、第二補助部28bが重なって補強されているので、摘み部56aを摘んで補助板28から引き離す操作を行う際に変形しにくい。また、この操作を行うとき、摘み部56aの基端部の折り筋58が情報カード部56を撓ませる力を吸収するので、情報カード部56の内側部分がシワになったり折れ曲がったりしにくい。したがって、情報カード部56に印刷されている表示が綺麗に保持される。

20

【0029】

取り出した商品の中に戻して再封するときは、フラップ60, 76を90°に正折して元に戻し、第一の蓋片34の基端側部分34aを正折りしてフラップ60, 76に重ね、さらに第二の蓋片68を正折りし、図6(b)に示すように、再封部68aを基端側部分34aの切り込み42に差し込んで係合させ、蓋部を形成する。

30

【0030】

情報カード付き包装箱10を廃棄するため分解するときは、第一の側面板20の押圧部50を指で押してU字状の分解用破断線48bを破断させ、重なっている第一及び第二の底片44, 72を摘んで引き上げるようにして分解用破断線48aを破断させ、底部の閉鎖を解除する。これで情報カード付き包装箱10を薄く折り畳むことができるようになり、コンパクトな形で廃棄することができる。

40

【0031】

以上説明したように、情報カード付き包装箱10は、情報カード部56を切り離す際に情報カード部56が変形しにくいので、情報カード部56の情報表示を綺麗に保つことができる。例えば、情報カード部56に複雑又は精密なバーコードが表示されていた場合でも、バーコードが不鮮明にならず、バーコードリーダーで問題なく読み取ることができる。

【0032】

また、箱体形成片12の使用面積もさほど大きくなり、組み立ても容易である。特に、情報カード部56を第二の側面板14の折罫線22から離れた端部に設け、第二の補助部28bを補助板28の第一折罫線30から離れた端部に設けることにより、補助板28の面積を極力小さくすることができる。

50

【0033】

なお、本考案の情報カード付き包装箱は、上記実施形態に限定されるものではない。例えば、第二補助部は、情報カード部の情報表示部分を補強できる形状であればよく、図2に示す第二補助部28bのように、一辺が外向きに湾曲した等脚台形状にしてもよいし、図8に示す第二補助部28b(1)のように、一辺が内向きに湾曲した等脚台形状にしてもよく、その他、長方形、楕円形、楕円形等、自由に変更することができる。

【0034】

情報カード部は、第二の側面板の他の位置に設けてもよく、例えば第二の側面板の端部ではなく、内側に設けてもよい。情報カード部の形状についても自由に変更することができる。情報カード部の位置や形状を変更するときは、それに合わせて、第二補助部の位置や形状も変更する。また、摘み部の位置や形状も適宜変更することができ、摘み部が不要であれば省略してもよい。

10

【0035】

複数の側面板、蓋片、底片、フラップの大きさや形状も、用途に合わせて自由に変更することができ、開封、再封及び分解するための構造も自由に変更することができる。

【符号の説明】

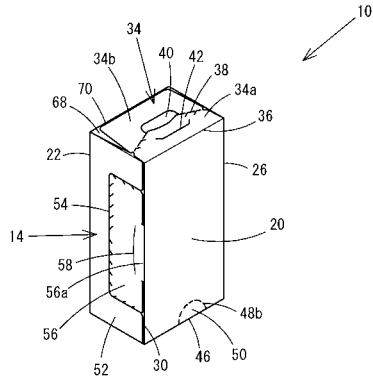
【0036】

- 10 情報カード付き包装箱
- 12 箱体形成片
- 14 第二の側面板
- 16, 18 側面板
- 20 第一の側面板
- 28 補助板
- 28a 第一補助部
- 28b 第二補助部
- 30 第一折罫線
- 32 第一破断線
- 52 本体部
- 54 第二破断線
- 56 情報カード
- 56a 摘み部
- 58 折り筋
- 84, 86 糊

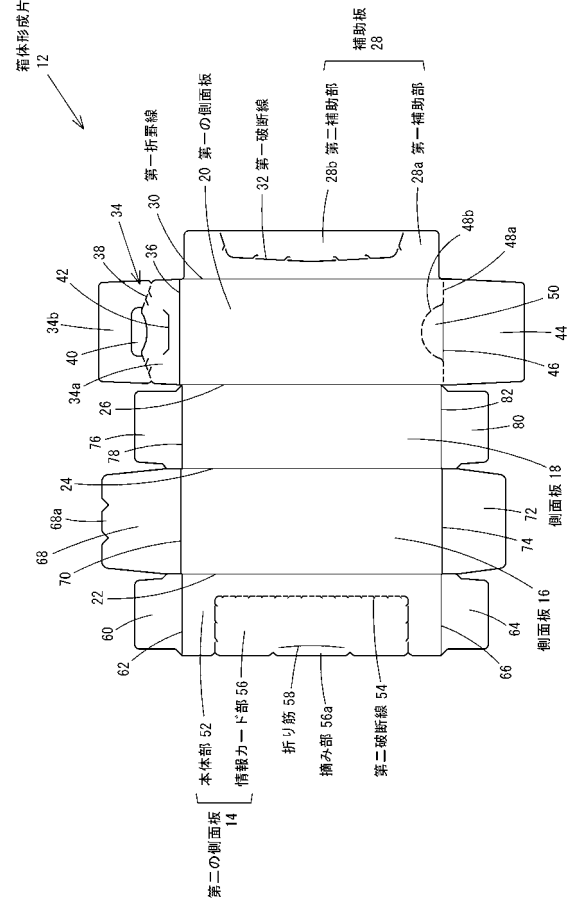
20

30

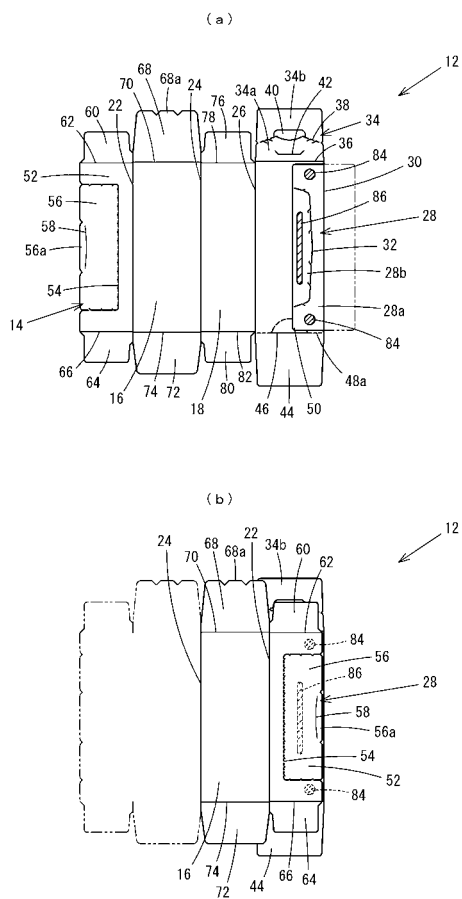
【図 1】



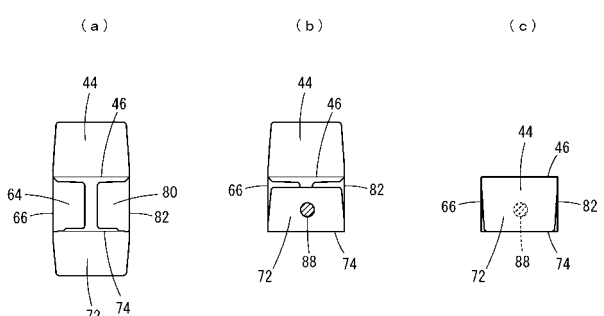
【図 2】



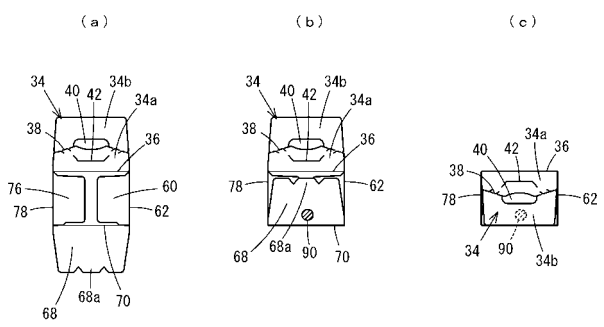
【図 3】



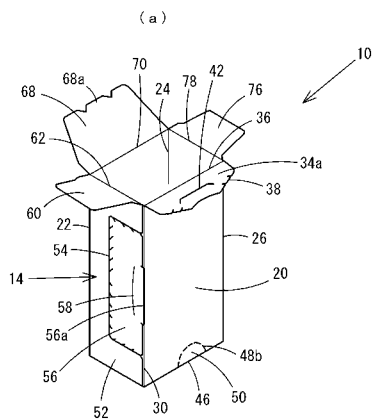
【図 4】



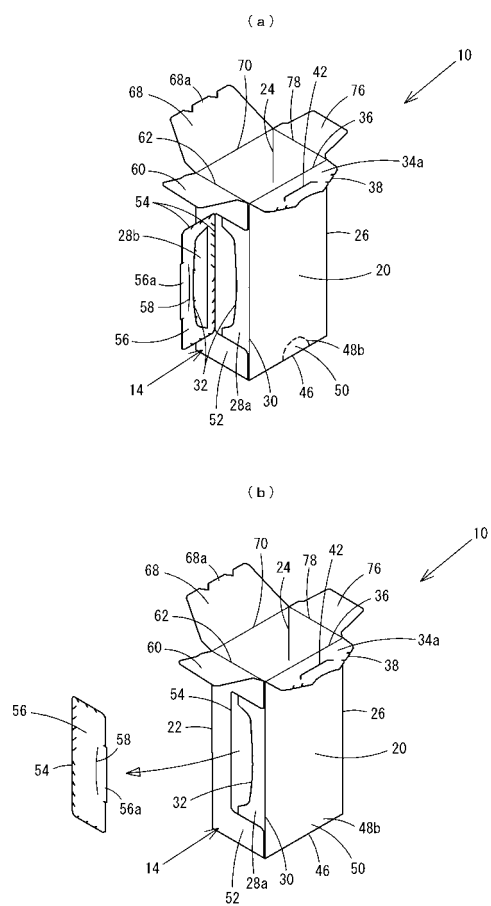
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【図 8】

